

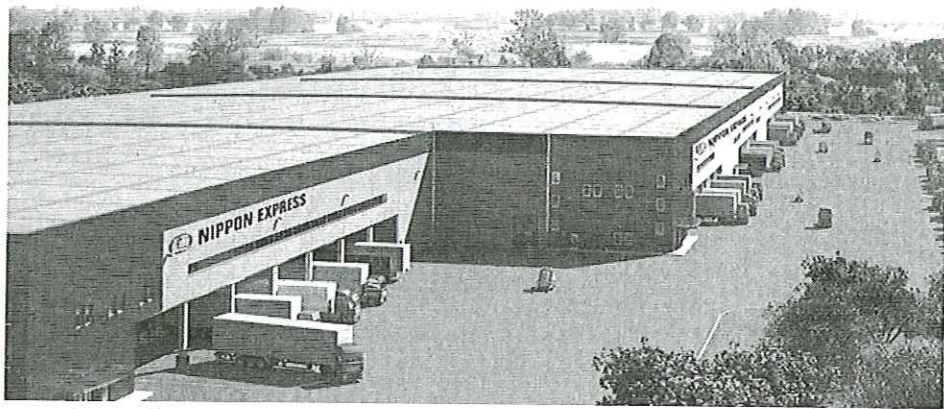
輸送経済

THE YUSO-KEIZAI

第2802号 昭和24年4月23日（第三種郵便物認可）

6/17

平成20年
(2008)
(火曜日)
週刊



モスクワに大型倉庫

ロシア
日通 輸送機器保管など対応

ロシア日本通運（与田 店）の倉庫を活用して、ペテルブルクとモスクワ 員を二十四時間常駐させ、守祐社長）はモスクワ市 だが、需要拡大が見込まれるロジスティクス事業の便も良い。警察への緊急通報体制を整え、危機管理を万全に保つ。同社の倉庫管理システム「REWARD」を活用する。トラックが接車する業務を開始する。来年一月から業務を開始する。予想図。

輸送機器メーカーの製品保管や配送業務など業務拡大に伴い、自社倉庫を開設する。

ロシアでは通関事情の改善でロシア隣国を介した販売形態から、ロシア国内での直接販売に切り替える外国企業が増加。一大消費地のモスクワでは倉庫需要が急速に高まっている。

現在は協力会社（代理

空港から近く、サンクト 視カメラを設置し、警備 備える。